

# 図書館だより

はる  
春は すぐそこ♪

ノートルダム学院小学校  
2019.02.01 (金)  
No.10



2019年の立春は2月4日

立春とは二十四節季の一つで、季節をあらわす言葉です。

旧暦では立春は新年の始まりをさし、正月のようなものでした。立春に

は、春という字が含まれますから、寒かった冬は終わり、花が咲き、気温の

穏やかな日々がイメージされそうですね。しかし立春とは、冬が極まり春の

気配が立ち始める日、という意味で、立春を迎えたころから気温の底はピ

ークを過ぎ、徐々に春めいた気温や天気が変わっていくのです。寒い日は

もう少し続きますが、外で元気に遊んだり、こたつで本を読んだりしながら

ら、暖かい春を待ちましょう！



## あたら 新しい本

\*ルルとララシリーズ

かえでの森にかこまれたメープル通りに、ちいさ  
なおかしやさんがオープンしました。店長さんは、

まだ小学生のルルとララです。森の動物たちから寄せられるおかし  
の注文は、味も形も好みもさまざまです。ルルとララは、知恵をしぼって

工夫をこらしたり、おとなりのパンやさんのシュガーおばさんの助けを借

りながら、おいしいおかしを作り上げていきます。お客さまの希望に寄り

添いながらおかし作りをするうちに、ときにはお客さまの悩みごとを解決

することも。さてさて、今日は、どんなお客さまがくるのでしょうか？

\*空を飛んだ夏休み

小学五年生のゆみたちは、夏休みの班学習の題材におばあちゃん

の戦争体験をとりあげることになりました。それは、疎開先のヒロシマの原爆

のこと。おばあちゃんの話聞き、ゆみは夢の中で、おばあちゃんがかつ

て持っていた青い目をしたお人形さんと当時のヒロシマにタイムスリッ

プするのです・・・！平和の中で育っている現代っ子に「核」の怖さを伝え

たい、との思いが込められた創作絵本です。

